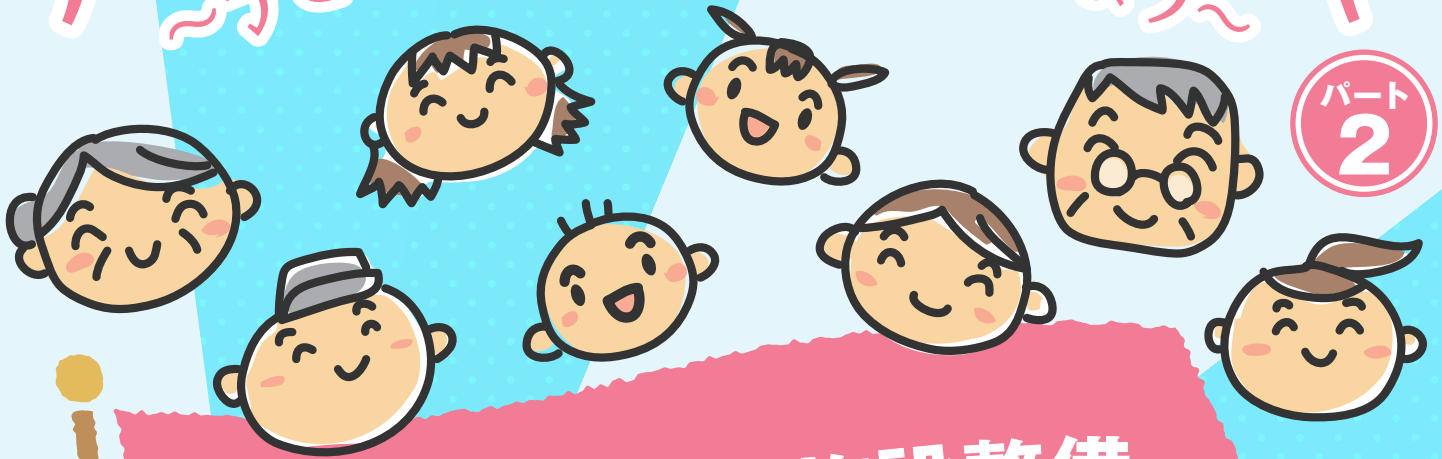


まちのみんなが 元気になれる学校

～子どもたちの元気の輪を広げよう～

パート
2



田尻町一貫教育施設整備
学校建替えの方針について



方針決定

こども園・小学校・中学校を一体的に整備!

こども園、小学校、中学校の組織は残しつつ、0歳～15歳までの子どもたちがともに学び合い、育ち合う施設をめざします。

方針を決定した4つのポイント



建替え方針説明動画はこちら

成長をつなぐ「建物そのものが、子どもたちの成長を支える学びの環境」

こども園・小学校・中学校を一体型施設にすることで、子どもたちの学びや成長を途切れさせることなく支えることができます。

- ▶ 学びがリセットされず、学力の定着と伸びにつながる
- ▶ 異年齢の子ども同士の関わりが増える
- ▶ 教職員の見守り体制や支援体制が強化される
- ▶ 園・小・中の連携が日常として自然に行える
- ▶ 校種をこえた情報交換や相互理解が進む

共に見守る「子どもの命と安全を、みんなで守る環境」

安全管理や災害時の対応をより迅速かつ確実に行うことができ、子どもたちが安心して過ごせる環境になります。

- ▶ 避難誘導や指示系統を一元化でき、子どもの安全性が高まる
- ▶ 現こども園が位置する津波浸水想定区域からの移転により、すべての子どもたちの安全を確保できる

交流で育む「多様な人との関わりが、子どもたちを育てる」

異年齢の子ども同士の交流だけでなく、地域の方々など多様な人との関わりも生まれ、子どもたちはさまざまな価値観に触れながら成長していくとともに、思いやりや協働性、主体性といった力(非認知能力)の向上につながります。

- ▶ 年上の子どもは年下を思いやり、責任感や思いやりの心が育つ
- ▶ 年下の子どもは年上に憧れ、成長への意欲が高まる
- ▶ 地域の方々など多様な人との交流が生まれやすくなる

安定した保育環境を守る「運営面のリスクを減らし、保育環境を安定させる」

現こども園の大規模改修時に生じる課題やリスクを軽減し、子どもたちの学びや生活への影響をできるだけ小さく抑え、安定した保育環境を維持することができます。

- ▶ 仮設園舎での保育を回避でき、保護者や子どもたちへの負担を軽減することができる



0歳～15歳を支える一貫した教育環境



【イメージ図】

成長をつなぐ

交流で育む

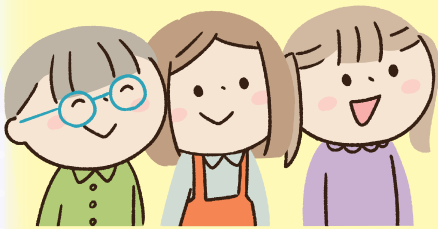
共に見守る

基本理念

めざすべき目標(めざす子どもの姿)を共有し、すべての教職員が一体となって、0歳から15歳までの子どもたちの成長を切れ目なくつなげ、一貫した教育カリキュラムの実施及び一貫校で共に生活することによる育ち合い・学び合い・郷土への理解と愛着の醸成によるグローバル人材の育成。

グローバル:全世界を同時に巻き込んでいく流れである「世界普遍化=グローバル」と、地域や特性を考慮していく流れである「地域限定化=ローカル」の2つの言葉を合わせた混成語

めざす 子どもの姿



「楽しく学び続けられる子ども」

自分の価値を見出し
より良い未来を拓くたじりっ子

自尊感情

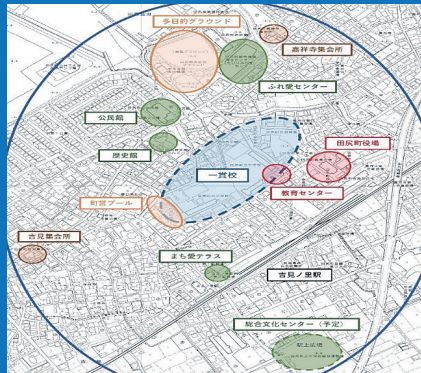
「自分の力で
やり抜く子ども」

「人とつながり、
自分も相手も
大事にできる子ども」

教育環境 ^{プラス} 教育活動

たじり 一貫教育

計画地について



まちの中心地にある現在の小・中学校の敷地に決定

計画地は、地域住民が教育活動等に参画しやすく、また役場、教育センター、公民館、ふれ愛センターなどが近くにあることから、幅広い世代の人と直接関わりを持つことができ、コミュニケーション能力や社会性の向上を図ることができます。

連携教育から一貫教育へ

園小中連携教育

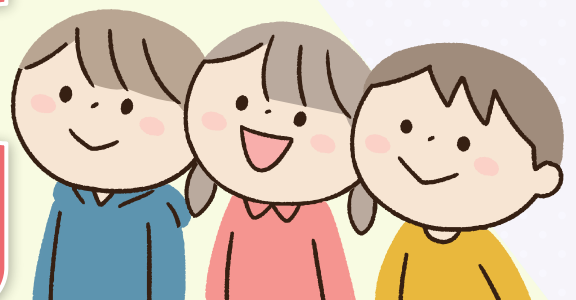
こども園、小学校、中学校が、お互いに情報交換や交流を行うことを通じて、こども園教育・保育から小学校教育へ、小学校教育から中学校教育への円滑な接続をめざす様々な教育

園小中一貫教育

連携教育のうち、めざす子どもの姿を共有し、15年間を通じた教育課程を編成し、体系的な教育をめざす教育

田尻町内にこども園、小学校、中学校が1つずつであるといった特色を活かして、子どもたちの成長を切れ目なくつなぐ

田尻町一貫教育
施設整備基本構想は
こちら



心配の声にもしっかりと対応



その他の
Q&Aはこちら

施設を一体化するという
ことは1つの学校になるという
こと?

いいえ、1つの学校になるわけではあり
ません。施設一体後も現在と同じ、こど
も園、小学校、中学校であり、それぞれに
園長・校長がいます。

施設を一体化することで、運
動場や教室がせまくなるら
ない?

いいえ、せまくはなりません。
最初から0歳～15歳の活動を前提に、必
要な広さを見込んで設計を行います。

園児と中学生では体格差が
大きく、危なくない?

こども園、小学校、中学校のそれぞれの
メイン生活エリアは基本的に分けて配
置し、共有スペースは時間や活動内容を
調整します。

園児と小中学生では生活リ
ズムが違うのに大丈夫?
学習や午睡への影響が出な
いか心配。

諸室の配置や移動動線などのハード面、
活動内容などのソフト面での配慮が必要
であると考えています。今後も音の影響
を和らげる方策を検討していきます。

現こども園の施設は使わな
くなるの?

いいえ、取り壊さず学童保育施設として
活用予定です。また、将来のニーズに応
じて地域や子どもたちの施設として有効
活用します。

いつ完成するの?

令和16年中に校舎の供用を開始する予
定です。(事業の進捗により完成時期は
前後することがあります。)

問い合わせ先

田尻町教育委員会教育部一貫教育推進課

電話:072-466-5024 FAX:072-466-5095 E-mail:ikkan@town.tajiri.osaka.jp